

『おかあさん おかあさん おかあさん…』

おおしま たえこ ちよ こうせいしゅっぱんしゃ
大島 妙子/著 株式会社



かぜをひいてねていると、そとはふぶきになっていた。おくすりをかいにでかけたおかあさんはまだかえってこない。おかあさんがゆきだるまになってとんでいっちゃったらどうしよう。おかあさん、はやくかえってきて。

『山の学校 キツネのとしょいいん』

あしはら かも/さく たかはし かずえ こうだんしゃ
葦原 かも/さく 高橋 和枝/著 講談社



ここは、山のふもとにあるえのき小学校。あるひ小学校のとしょしつにちいさな子ギツネのリンがやってきました。リンはバーコードをよみとるきかいにきょうみがあるようです。「ピッ、ピッ」という音がお友だちのことりのなきごえにそっくりなのです。リンは校長先生のきよかをもらってとしょいんになりました。

『ひき石と24丁のとうふ』

おおにし のぶお ちよ かん
大西 暢夫/著 アリス館



とても寒い岩手の山の中で、90歳をこえたミナさんは豆腐を作り続けています。原材料の大豆もミナさんの畑でとれたものです。ミナさんは自分が不自由なため、手の感覚を頼りに作業をします。道具はすべて手で動かすものをつかっています。山の湧き水を使い薪の火をくべてていねいにつくられるとうふを、みなさんもたべにきませんか？

『さっちゃんとあかちゃん』

わかやま けん/著 こぐま社



さっちゃんのうちにあかちゃんが生まれました。さっちゃんはあかちゃんがめずらしくてたまりません。けれどあかちゃんとあそぼうとするたびにおかあさんにちゅういされてしまします。とうとうおこったさっちゃんはあかちゃんのおむつをめちゃくちゃにほうりなげてしましました。

つたわるきもち

『うさこちゃんの おじいちゃんへのおくりもの』

ディック・ブルーナ/文・絵
まつおか きょうこ/著

福音館書店



もうすぐふわじいちゃんのたんじょうびです。うさこちゃんがおくりものをなににするかなやんでいると、ふわかあさんがけいとをくれました。おばあちゃんからあみものをおしえてもらったうさこちゃんはおじいちゃんのためにすてきなものをあみましたよ。

『おはなしのもうふ』

フェリーダ・ウルフ、

ハリエット・メイ・サヴィット/文

エレナ・オドリオゾーラ/絵

さくま ゆみこ/訳



むらのこどもたちは「おはなしのもうふ」にすわってザラおばあちゃんのおはなしをきくのがだいすきです。ところがそのもうふがだんだんちいさくなってきました。そのかわり、むらびとたちにけいとのプレゼントがときました。プレゼントはおはなしのもうふにそっくりです。さておくりぬしはだれなのでしょう。

『キタリス・ウーと森のお医者さん』

たけたづ みのる ぶん しゃしん せがわ しょうし え
竹田津 実/文・写真 瀬川 尚志/絵

PHP研究所

489 冊



お人よし獣医の竹田津さんのもとには、毎朝キタリスのウーがやってきます。ウーは退院して野生に戻ったあとも、竹田津さんを散歩に誘います。ウーと竹田津さんとの心の交流の記録です。



『へそまがりの魔女』

あんどう みきえ/文 牧野 千穂/絵

アリス館



暗い森に住む年老いた魔女の家に、家族のいないひとりの娘がやってきました。人ごらいの魔女と暮らすことになった娘はせっせと働きましたが、魔女のたいどはそっけいなままであります。ある日、お城で赤ちゃんが生まれました。へそまがりな魔女は赤ちゃんに呪いをかけるといいます。その呪いとはどんなものだったと思いますか？

